

CASBEEさいたま2016年版
 (仮称)さいたま市北区 特別養護老人ホーム新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境										2.7
1 音環境						2.3	0.15	2.6	1.00	2.4
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						2.4	0.40	2.1	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						2.0	0.60	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	2.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境						2.2	0.35	2.4	1.00	2.3
2.1 室温制御						3.5	0.50	3.8	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		[共・病]断熱性能の高い建築材の採用。				5.0	0.25	5.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						3.3	0.25	3.1	1.00	3.2
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		昼光率:[共]2.5%以上、[病]1.25%以上。				5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口							-		-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		[病]:庇とカーテンを組み合わせることでグレアを制御。				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	1.0	0.25	
4 空気質環境						2.7	0.25	3.5	1.00	2.9
4.1 発生源対策						3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気						2.0	0.30	4.5	0.38	
1 換気量		[病]:換気量70m ³ /h・人				3.0	0.50	5.0	0.50	
2 自然換気性能		[病]:居室面積の1/15以上(自然有効開口面積)					-	4.0	0.50	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理						3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視							-		-	
2 喫煙の制御						3.0	1.00		-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.9
1 機能性						2.5	0.40	3.8	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		[病]:個室10m ² /床以上である。					-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応							-		-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観							-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							-		-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		①防汚性に配慮した材料(壁)の採用 ②防汚性に配慮した材料(床)の採用 ⑤風除室内の自動扉の1次扉と2次扉のセンサーが感知しないように配慮している。 ⑥汚れや水分が溜まらない設計(水切り) ⑩外部はメッキ処理等を施している ⑪段差の無い設計				4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		-	

2 耐用性・信頼性			3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.4	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:長尺シート(20年) 壁:ビニルクロス(20年) 天井:ビニルクロス(30年) ボード類(30年)	5.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:塩化ビニルライニング鋼管(判断基準:B) 排水管:耐火二層管(内管VP)(判断基準:B) 冷媒管:冷媒用被覆銅管(判断基準:C)	5.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性			2.6	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.7	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	2.4	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱性能の高い建築材の採用。	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.79	3.2	0.50		-	3.2
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		過半に節水器具の採用。	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60		-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		・躯体と仕上げの分別が容易な構造(LGS下地) ・OAフロアの採用	5.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP<50の断熱材を使用。	4.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	

LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		高効率な設備機器の採用によるCO2の削減。	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	利便性、渋滞緩和に配慮した駐車場計画等。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画。	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	